

アルジェリア政治・経済月例報告  
(2015年12月)

平成28年1月  
在アルジェリア日本国大使館

1. 内政

● 「ブ」大統領の定期検診

3日、アルジェリア大統領府は「ブーテフリカ大統領は本日3日に当地を出発し、短期間フランスに私的滞在する。滞在中は、担当医師の元で定期健康診断を受ける予定。」との内容のコミュニケを発出した。また、5日、ブーテフリカ大統領は、定期健康診断のための短期間の仏における私的滞在后、5日、アルジェリアに帰還した旨大統領府は声明を発表した。報道によれば、ブーテフリカ大統領は3日16時過ぎにグルノーブルの病院 (clinique d'Alembert) に到着・入院した模様。

● トウフィック前 DRS 長官の書簡発出

4日、9月に情報安全庁 (DRS) 長官の職を解かれたモハメド・メディエン元中將 (通称: トウフィック) が、11月26日オラン裁判所で禁固5年の実刑判決を受けた元 DRS テロ対策責任者ハッサン将軍を擁護する内容の書簡を、当地メディア宛てに投函した。25年間、権力中枢部の DRS 長官の座にあり、決して公の場に姿を現さなかった同前長官が、突然公開書簡を発出したこと、及び権力中枢部での内紛をにおわせたことから国内で大きな注目を集めた。

なお、同前長官とは対照的に、タルターグ現 DRS 長官が AFRIPOL (インターポールのアフリカ版) 設立会合の場に姿を現したことが注目された。

● 憲法改正に関する小閣議開催

14日、「ブ」大統領は憲法改正草案を検討する小閣議を開催。参加者は、セラル首相、ウーヤヒヤ大統領府官房長、ビルイッズ大統領顧問、ガイド・サラ国軍参謀総長、ルー司法相、ブアラーム・ビサーイフ顧問。また、「ブ」大統領は28日にも憲法改正草案に関する小閣議を開催し、同改正案を承認した。

● アイト・アハマト元 FSS 党首の逝去

23日、革命戦士であり、アルジェリアにおける伝統的な主要野党、「社会主義勢力戦線 (FFS)」の創設者であるフセイン・アイト・アハマト元党首が、滞在先のスイス・ローザンヌで逝去した。これを受け、24日、「ブ」大統領は8

日間の喪中を発表した。ご遺体は、31日、アルジェに到着し、翌月1日にティジウズ県の故郷に埋葬された。

### ● 国民評議会（上院）の半数改選選挙

29日、国民評議会（上院）の半数改選選挙（憲法上、議員の任期は6年で、3年ごとに半数が改選される）が行われた。今回の選挙は、144名の国民評議会議員中、県議会・市議会議員が間接・秘密投票により自らの中から選出する96名の内の半数を改選するもの、30日の内務省の発表によれば、国民解放戦線（FLN）が23議席、民主国民連合（RND）が18議席、社会主義勢力戦線（FFS）が2議席、フィジュール・ジャシード党1議席、無所属4議席獲得した。RNDは今回の選挙で、FLNの40名に対して、43名の議員を確保できたとして、国民評議会での主要政党の地位を維持したとしているが、FLNも勝利を宣言しており実態は不明。なお、大統領が指名する48名の議員の半数改選については、未だ実施されていない。

## 2. 外交

### ● AFRIPOL の設立

13日、首都アルジェにあるエルオラシーホテルにおいて、アフリポール（AFRIPOL）設立を目的とした会議の第一回目が行われ、当国治安機関幹部及びアフリカ大陸の各国（41カ国）の警察等治安関係者の長が集まった。右会議では、各国間の効率的な連係及び協力を通じて、アフリカ大陸にとって今後問題や脅威となるテロリズム、人身売買、武器及び麻薬の密輸、サイバー犯罪等の検挙に関することなどが話し合われたほか、ベドゥイ内務地方・自治大臣及びハメル国家警察庁（DGSN）長官から、アフリポール設立の必要性が述べられた。当機関の本部は、ベンアクヌーン地区に置かれている。

### ● サウジ・イランとの関係

アルジェリアは、サウジ、イラン両国と一定の良好な関係を維持しており、12月には以下のような動きが見られた。8日、リヤドで第11回アルジェリア・サウジ合同委員会が開催され、アルジェリア側はベンケルファ財務相がヘッドを務めた。また、31日、ジュベイル・サウジ外相がアルジェリアに来訪し、セラル首相、ラマムラ外相と会談、第3回政治協議を行うと共に、合同委員会のフォローを行った（14日にサウジが設立表明したイスラム軍事同盟への参加表明はなし）。

他方で、16日、ジャハーンギーリ・イラン第一副大統領がアルジェに来訪し、17日には「ブ」大統領との会談が行われると共に、両国高等合同委員会

が開催され、教育や文化面における5のプロジェクト執行計画と3の了解覚書が署名された。

### 3. 治安

#### ● AQIMとムラービトゥーンの統合

4日、「イスラム・マグレブ諸国のアル・カーイダ（AQIM）」首領のドゥルクデルは、14分18秒の新たな音声録音を発表し、ムフタール・ベルムフタール（MBM）が首領の「ムラービトゥーン」がAQIMに統合した旨、また、マリの首都バマコでのラディソン・ブルー・ホテルの襲撃は、MBMが帰還し、分裂の後に統合したことによるものである旨述べ、仏のサヘルでの政策変更を要求した。また同時に、ムラービトゥーンもAQIMとの統合を別途発表。

#### ● 大量爆発物、米国製銃器の押収

1日及び2日付当地各紙が、当地ブーメルデス県において、アルジェリア軍により1,600キログラムに及ぶ爆発物が発見・押収されるとともに、テロリストがこれら爆発物を用いて爆弾を製造し、アルジェ県に所在する大使館等を狙っていた可能性がある旨報じた。

また、9日、アルジェ県の中心街にあるクリム・ベルカッセム地区において、16丁に上る銃器が押収され、これらを密売していた5人組の内、二人が憲兵隊により逮捕されたことが発表された。これら米国製の銃器は、トルコを経由し、リビア及びチュニジア国境からアルジェリアに持ち込まれたとみられる。

#### ● MBMの生存情報

27日付シュルーク紙（イスラム系アラビア語紙）が報じるところによれば、リビアのアジュダビアで、26日に軍に拘束されたテロリストが保有していたビデオに、数日前に撮られたMBMの姿が映っていた。消息筋によれば、ビデオに映っているのはMBMその人であり、ニジェール国境付近の「アムサーク・ソウダ」と呼ばれる場所で、冬物を着たMBMが、エジプト人、その他外国人を含むアジュダビアの他のテロリストと共に、健康そうな状態で写っている（記事別添）。なお、他紙では一切報道されておらず、本件の真偽は不明。

### 4. 経済

#### ● 2015年1月—10月の貿易収支

アルジェリア関税局・国家統計情報センター（CNIS）が発表した統計によると、当国の2015年1月—10月の貿易収支は、前年同期が42億9,000万ドルの黒字であったのに対し、108億2,500万の赤字となった。炭

化水素部門の輸出額は、前年同期が512億2,000万ドルであったのに対して303億5,000万ドルを計上し、対前年同期比40.74%減となった。

#### ● 当地経済専門家による提言

6日、メキデシュ経済社会評議会（CNES）副議長は、国営ラジオのチャンネル3に出演し、5日にヨハネスブルグで開催された第6回中国・アフリカフォーラム（アルジェリアからはセラル首相が出席）について言及しつつ、今後アルジェリアはインフラプロジェクトの資金調達を中国から行うべきであると述べた。同副議長は、「中国はゼロ金利乃至は低金利で長期的な借款を行っている国であり、アルジェリアは気後れすることなく融資を受けるべきである。中国から融資を受けることができれば、アルジェリアは経済成長に必要なインフラプロジェクトを中断することなく、2020年まで継続すると見られている石油危機を乗り越えることができる」と指摘している。

#### ● 消費者ローンの再開

7日、シディ・サイド全国労働者連盟議長は、当地独立系エクスプレッション紙の取材に対し、2009年の補正予算法で禁止された消費者ローン（不動産は除く）の再開に関し、同政令は商業省、財務省、産業・鉱業省による協議は最終段階に達しており、遅くとも2016年始めに政令が発表される旨発言した。消息筋によると、消費者ローンの対象は国内生産品にのみ限定され、外国製品は対象外になるとの由。

#### ● 北アフリカ石油・ガスサミットの開催

8日、アルジェのシェラトン・ホテルにおいて、北アフリカ石油・ガスサミットが開催され、アルジェリア政府関係者及び海外企業が参加した。同サミットに出席したアメリカの北アフリカ・リスクコンサルティングス（NARCO）のポーター代表は、アルジェリアのガス・石油分野への投資が落ち込んでいるのは治安上の問題ではなく、むしろ外貨規制や51/49%の外貨規制等の規制にある旨強調した。なお、今回のサミットには財政上の理由から国営炭化水素公社ソナトラック社は不参加だった。

#### ● ブーテフリカ大統領が2016年予算法を承認

16日、上院議会において、2016年予算法が賛成多数で可決された。その後、同法案を「反社会的」として非難した野党陣営は、大統領による承認延期を求める書簡（下院議員90名及び上院議員2名の署名入り）をブーテフリ

カ大統領宛に発出したが、30日、ブーテフリカ大統領は本年最後となる閣議を開催し、同法案に署名した。

#### 5. 我が国との関係

##### ● 藤原大使とベルメダ国民議会外交委員会委員長との会談

9日、藤原大使はベルメダ国民議会外交委員会委員長を往訪し、会談を行った旨国民議会が発表した。同会談で外交委員長は、両国関係が深淵であり、今後更にあらゆる分野におけるこの関係を発展させていくべきと述べ、また、藤原大使より、投資を増大させていくことにより、特に経済関係を強化していきたい旨述べた。

#### <アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
12月1日	アメリカ	ブシュアレブ産業・鉱業大臣	アルジェリア投資セミナーに出席
12月4日	フランス	セラル首相	COP21に出席
12月5日	南アフリカ	セラル首相	第3回中国アフリカサミットに出席
12月9日	フランス	ラマムラ外務・国際協力大臣	COP21に出席
12月12日	イタリア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	リビア会議に出席
12月14日	ギニア	ウルド・ヘリファ国民議会議長	大統領就任式に出席
12月15日	フランス	ベドゥイ内務・地方自治大臣、ハメル国家警察庁長官	カズヌーヴ内務大臣と会談等

#### <外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
12月1日	エジプト	シュクリ外務大臣	第7回リビア国境国会議に出席
12月1日	ニジェール	ブラマ外務大臣	第7回リビア国境国会議に出席
12月1日	国連	コブラー・リビア問題担当特使	第7回リビア国境国会議に出席

12月9日	フランス	ドゥブレ憲法評議会議長	ブーテフリカ大統領、メデルシ憲法評議会議長と会談等
12月15日	サウジアラビア	ベン・アブデルアジズ・アル・サウード慈善基金理事長	ブーテフリカ大統領と会談等
12月17日	イラン	ジャハンギリ第1副大統領	イラン・アルジェリア合同委員会に出席
12月20日	フランス	トビラ国璽尚書・司法大臣	ブーテフリカ大統領、セラル首相、ルー法務・国璽大臣と会談等
12月22日	クウェート	アル・アフメド・アル・サバー王宮府長官	ブーテフリカ大統領、セラル首相と会談等
12月31日	サウジアラビア	ジュベイル外務大臣	セラル首相、ラマムラ外相と会談

(了)